第１学年　国語科　学習構想案

指導者　教諭　伊藤　奈桜子

１　単元構想　「『のりものカード』をつくろう」（東京書籍）

単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）
乗り物の役目やつくり、つくりがあることでできることに着目して文章の中の必要な語や文を選び出し、カードにまとめることができる児童。
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）
乗り物の「役目」と「つくり」が相手に伝わるような「1 年生の乗り物図鑑」を作ろう。
本単元で働かせる見方・考え方
「役目」や「つくり」のつながりに着目して、教科書や友達の文章と比較しがら分かりやすい文を考えること。

指導計画と評価計画（１４時間取扱い　本時１０／１４）

過程	時間	学習活動	評価 知	評価 思	評価 主
一	1	○学習のゴールイメージをもち、単元のめあてを設定するとともに学習の見通しを立てる。 わかりやすい「1ねんせいののりものずかん」をつくろう。			○
二	2	○文章全体の構成を捉える。	○		
	3〜6	○「客船」「フェリーボート」「漁船」「消防艇」それぞれの船について、「役目」「つくり」「できること」の三つの観点で内容を整理し、構成を捉える。		○	
三	7	○「いろいろなふね」の学習を想起させ、自分はどのような文章を書きたいか話し合い、単元の見通しをもつ。			○
四	8	○生活の中で見た乗り物を振り返ったり、図鑑の本を読んだりし、題材候補を集める。	○		
	9〜12	○本を読み、乗り物の「役目」と「つくり」のメモを書く。 ○「役目」に合う「つくり」になっているか確認する。（本時） ○メモをもとに、「のりものカード」を書き、推敲する。	○	○	
	13	○完成したカードを友達と読み合って、調べ方や表現のよいところに着目し、感想を伝え合う。			○
五	14	○単元の学習を振り返り、学習したことをどのように生かしていきたいかを確かめ、次の学習への意欲を高める。			○

研究テーマとの関連（授業づくりの柱）	
①単元デザイン	だれが見ても分かりやすい「1 年生の乗り物図鑑」を作るというゴールの姿と単元計画を児童と共有する。
②個別最適	「のりものカード」に書くテーマを自分の興味のある乗り物から選択させる。 個人の進度に合わせて毎時間のめあてを選択させる。（第８・９・１０・１１時）
③協働的	話し合いの際に、自分の書いたメモが相手に伝わるかどうか確認するという視点を与える。
④振り返り	自分の立てためあてを達成できたか、どの程度単元のゴールに近づけたかを振り返る視点とする。

２　本時の学習

目標　　メモを見て書こうとする題材に必要な事柄かどうかを考えることができる。（思考・判断・表現）

過程	時間	学習活動	指導上の留意事項 評価
つかむ	7分	１　前時の振り返りを行い、めあてをつかむ。 **【めあて】わかりやすい「のりものカード」をつくるために、メモをかこう。**	○自分のめあてを達成できたか、ゴールまでどの程度近づいたかを確認する。 ○役目に合ったつくりになっているかを調べるには、「だから」でつなげてみるとよいことを確認する。
ためす	20分	２　個別で「役目」と「つくり」のメモを書く。 ①キーワードの「だから」を使って役目にぴったり合っている「つくり」を選んで書く。 ②「役目」に合う「つくり」になっているかを確認する。 ③図鑑を見てメモを修正する。 【期待される学びの姿】 自分が書いた役目とつくりが合っているかを確認し、修正している。	○困っている児童には、教師が個別で指導を行う。 ○友達と読み合って、「ぴったり」かを確認する。 ○自分の書いたメモが友達に伝わるかも確認するよう声掛けをする。 ○一人で行うか友達と行うかを選んで修正する。 メモを見て書こうとする題材に必要な事柄かどうかを考えている。 【思】（観察・ワークシート） 【到達していない児童への手立て】 ○「いろいろなふね」で考えたことをもとに「役目」に合った「つくり」を選ぶよう声掛けをする。
たしかめる	13分	３　完成したメモをグループで見直す。 ①グループで友達のメモを見合う。 ②これまでの学習を振り返る。	○自分の書いたメモが相手に伝わるかどうか確認するよう声を掛ける。 ○次時でこれまでのまとめを行うことを確認する。
ふりかえる	5分	４　学習の振り返りを行う。	○本時の学習で身に付いたことを確認し、価値づけを行う。 ○次時には、今日検討したメモをもとに「のりものカード」づくりを行うことを知らせる。

第５・６学年　体育科　学習構想案

指導者　T1　教諭　竹津　祐也　　T2　教諭　津田　歩

１　単元構想　「My Try! 自分で選んでチャレンジマット！」（マット運動）

単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）

マット運動の様々な技の体の動かし方を知り、自分の課題に合った技を組み合わせて、互いにアドバイスをし合い解決を図りながら演技することで、できばえを高め楽しさを実感する児童。

単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）

自分の課題に合った技を組み合わせて、練習方法を工夫してできばえを高め、かっこいい演技を創り上げよう！

単元を通して働かせる見方・考え方

技の行い方を知り、自分や友達の技から自己の特性（課題）を把握し、課題解決のための多様な方法を考えながら、できばえを高めるためのアドバイスを交流して、マット運動と多様な関わりをもちながら楽しむ。

指導計画と評価計画（８時間取扱い　本時７／８）

<table>
<tr><th></th><th>1・2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th></tr>
<tr><td rowspan="7">学習活動</td><td colspan="7">学習の準備→準備運動→スキルアップタイム　（本時）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">オリエンテーション（学習内容の確認、片付けの仕方、用具の使い方、スキルアップタイムの練習、自分の現状・課題を確認）</td><td colspan="6">課題の把握・めあての確認</td><td></td></tr>
<tr><td>前後転系・倒立系</td><td>倒立回転系</td><td>はね起き・側転系</td><td>自分の課題に合った技を選択する</td><td>「かっこいい」連続技を組み立てる</td><td>発表会☆</td></tr>
<tr><td colspan="3">チャレンジタイム（色々な技に挑戦し、課題となる技を決める時間）</td><td colspan="2">トライタイム①（学びをもとに課題を決め、できばえを高める時間）</td><td>トライタイム①（連続技のできばえを高める）</td></tr>
<tr><td colspan="3">課題の見直し</td><td colspan="2" rowspan="2">トライタイム②（色々な学び方＋グループで連続技のできばえを高める時間）</td><td rowspan="2">花房オリンピックを行う</td></tr>
<tr><td colspan="3">トライタイム（グループで課題となる技のできばえを高める時間）</td></tr>
<tr><td colspan="6">学習の振り返り、あと片付け</td></tr>
<tr><td>知</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>思</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>主</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

研究テーマとの関連（授業づくりの柱）

①単元デザイン	プロ選手の姿から「かっこいい」演技について共通理解を図り、ゴールの姿と単元計画を考える。
②個別最適	自己の特性に合った技を選択させ、できばえを高めるために自分に合った方法で練習を行わせる。
③協働的	共通言語をもとに、互いのできばえを高めるためのアドバイスややる気の出る声掛けをさせる。
④振り返り	「ゴールの姿」に対して自分の到達度や次の時間へとつながる振り返りをさせる。

２　本時の学習

目標　自分に合った技や技をつなぐ動きを選択し、できばえを高めるための練習方法を工夫することができる。（思考・判断・表現）

過程	時間	学習活動	指導上の留意事項評価
つかむ	7分	１　準備運動を行い、学習課題をつかむ。 ①準備運動とスキルアップタイムに取り組む。 ②前時の学習を振り返り、本時のめあての確認。 **【めあて】練習方法をくふうして、かっこいい演技を組み立てよう！**	○T1は全体指導を行い、T2は個別指導及び安全指導を行う。 ○ロイロノートの学習シートを活用して、自分の技を確認をさせる。
ためす	15分	２　技の組み合わせを考え、自分でためす。 ①「かっこいい」という共通言語や技を組み合わせる際のポイントを確認する。 ②つなぎ技を選んで演技を組み立てる。	○授業の導入での動画をもとに、「かっこいい」という共通言語の確認をもう一度行う。 ○思考のみではなく実際に動いて試行錯誤しながら考えさせる。
たしかめる	18分	３　自分の考えた技をグループで確認し､アドバイスをし合ってできばえを高める。 ①考えた演技をグループで見せ合い、より「かっこいい」演技になるようにアドバイスをし合う。 【期待される学びの姿】 自分の考えた組み合わせ技を友達に説明したり、友達の演技へのアドバイスをしたりしながら、自分に合った最適な方法で練習をする。 ②動画を撮影して成果を保存する。 ③まとめを行う。	○もらったアドバイスをもとにできばえを高める練習を行う。演技の中身は適宜変更しても良いことを伝える。 「かっこいい演技」にするために、自分に合った方法で練習している。 【思】（観察・タブレット） 【到達していない児童への手立て】 ○いろいろな学び方の中で、自分がこれまでに選んできたものを一緒に確認する。
		【まとめ】かっこいい演技をするために、自分の課題に合わせた方法で練習するとよい	
ふりかえる	5分	４　学習の振り返りを行う。	○本時の学習でできばえを高めるために、選択した練習方法を尋ね、その妥当性の価値づけを行う。 ○次時には今日練習した技の発表会を行うことを知らせる。